

教員業績

タケモト タツヤ

氏名 **竹本 達也**

職名	教授
専門分野	理論社会学、社会学説研究、組織社会学
学位	博士(人間科学)

学術論文・学会発表等

- 1998年 5月 (学術論文)連帯感情と公式構造——バーナード組織論における言説的意識へのまなざし——(単)<『ソシオロジ 第43巻1号 91-107 社会学研究会』>
- 2004年 3月 (学術論文)近代における国民国家生成と「努力」する家族——公教育・学校制度からみた「良妻賢母」——(単)<『社会学研究科紀要』4号 37-51 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
- 2005年 3月 (学術論文)「組織」を観察するということ——方法論からみたK. ワイクの批判的再検討を通して——(単)<『四国学院『論集』116号 111-137 四国学院文化学会』>
- 2008年 3月 (学術論文)キューバにおける社会意識—社会主義制度をとりまく現状からみた日本の課題—(単)<『社会学研究科紀要』8号 21-42 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
- 2009年 5月 (学術論文)21世紀ツーリズムのゆくえ(単)<『社会学研究科紀要』9号 33-43 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
- 2010年 12月 (学術論文)個人・組織・社会主義(単)<『四国学院大学『論集』133号 23-38』>
- 2012年 3月 (学術論文)アジアにおける宗教的営みの多様性をどうとらえるか(単)<文科省科研費補助金基盤研究B「アジアにおける精霊信仰の近代的変容」(研究代表者橋本(関)泰子)研究報告書147-60>
- 2012年 11月 (学術論文)パットナムのソーシャルキャピタル論の再検討(単)<『社会学研究科紀要』10号 20-46 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
- 2017年 2月 (学術論文)キューバにおける革命イデオロギーの希薄化メカニズム—宗教社会学の観点を用いて—(単)<『四国学院大学『論集』150号 46-72』>
- 2020年 3月 (学術論文)個人化および私事化するソーシャルキャピタル(単)<『四国学院大学『論集』158号33-60』>
- 2026年 3月 (学術論文)若者の社会参加<『四国学院大学院紀要4号 36-54』>

所属学会等

関西社会学会、日本社会学会、日本社会学理論学会